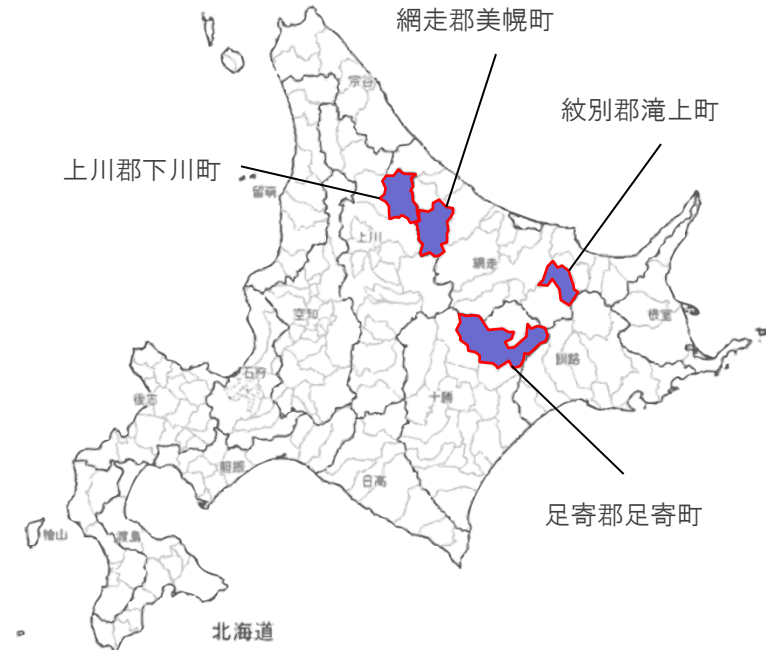


活用したJ-VERのプロジェクト

プロジェクト登録番号	0002
プロジェクト名称	北海道4町連携による間伐促進型森林づくり事業
プロジェクト期間	2007年4月～2013年3月
実施場所	北海道上川郡下川町 北海道足寄郡足寄町 北海道紋別郡滝上町 北海道網走郡美幌町
プロジェクトの種類	森林経営によるCO2吸収量の増大 (間伐促進型プロジェクト)
実施事業者	森林バイオマス吸収量活用推進協議会



北海道上川郡下川町他4町において実施されている間伐促進型プロジェクトから生み出されるJ-VERのみを活用した。

間伐を推進することにより、森林を健全に保つとともに、CO2の吸収量を増加させることを目的とするプロジェクト。

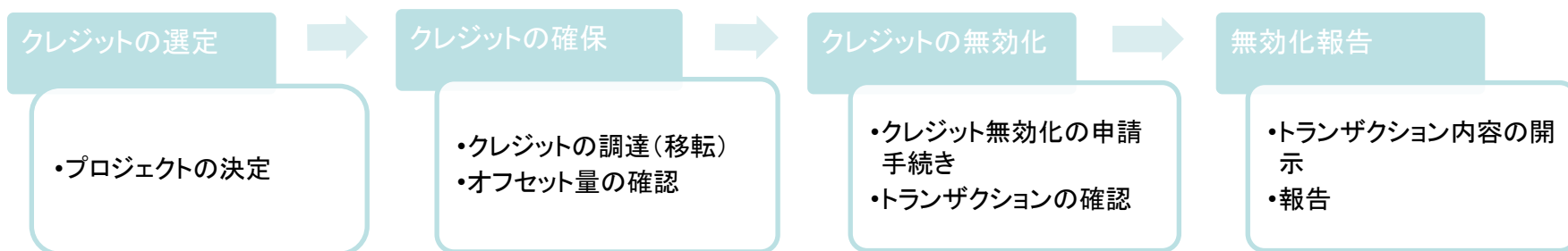
このプロジェクトにより、2013年までに38,000トン以上のCO2が吸収される見込み。



J-VERの調達・無効化による排出量の埋め合わせ

- 排出量の埋め合わせに活用したJ-VERの調達および無効化は、more treesを通して行われる。
- more treesのもつオフセット・クレジット(J-VER)登録簿口座から環境省の無効化口座へJ-VERを移転することで無効化が行われた。
- オフセットプログラム開始以降1月31日までのオフセット量18,868kgに関して、無効化は2月25日に完了している。

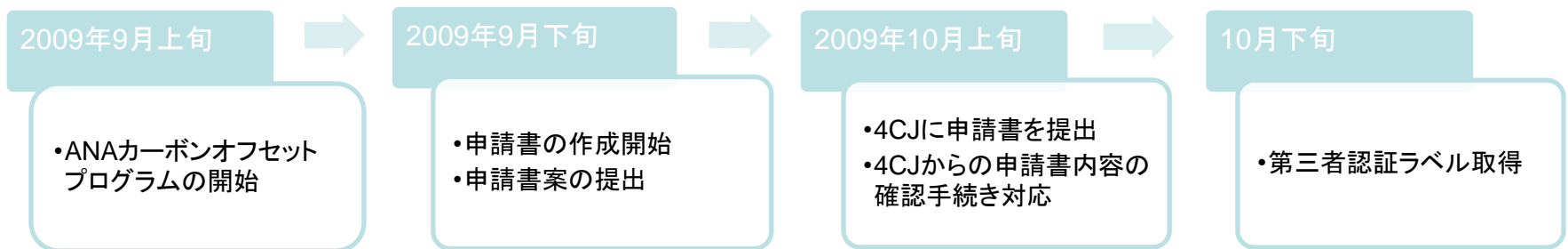
クレジット無効化までのフロー図



第三者認証ラベルの取得について

- 認証ラベルの取得前の2009年9月10日より、カーボンオフセットプログラムを開始。
- プログラムの内容をもとに9月下旬より申請書の作成を開始し、10月上旬に4CJへ申請書を提出。
- 申請書提出後、4CJからの申請書内容の確認等の対応を実施。
- 申請書の審査を受け、2009年10月23日に第三者認証ラベルを取得。

第三者認証ラベル取得までのフロー図



情報提供(例)

ポスター(空港その他)

ANA 日本の森の再生計画。

あなたのカーボンオフセットが、私たちのふるさとニッポンの森を再生します。

東西に長く伸びる日本列島。空から眺めると、ニッポンは真の国であることがわかります。北海道から九州・沖縄まで、私たちのふるさとニッポンは、多様な気候風土に恵まれた美しい森の国なのです。そして、その森は温暖化防止の貴重な炭素として、地球温暖化防止のための大切な役割を担っています。

ANAのカーボンオフセットは、そんな日本の豊かさを活かしたカーボンオフセットプログラムです。私たちのふるさとニッポンの森を元気にしたい。私たち、お客様と共にカーボンオフセットに取り組んでいきます。

ケータイで、カーボンオフセット。



あなたも参加しませんか?
<http://anaoffset.com>



ANA
カーボンオフセットプログラム

「一人一人が自分のライフスタイルがどれだけCO2を排出しているのかよく把握して、それをカーボンオフセットしようという。心のすれ違いは喜ばしいですね。」
 菅原 真一 (ANA 機長)

機内チラシ(e-flight)



「エアライン」として、**組んでいます。**

- 機内でご使用になる物品に、できる限り「環境(eco)」に配慮したものを提供します。
- 環境に配慮した機内販売品や商品をご紹介します。
- 機内でのリサイクル・省資源化の活動をお客様のご理解・ご協力のもと実現します。
- 他の環境先進企業ともタイアップした商品もご紹介します。

吸収クレジット(J-VER)※2に主に活用され、日本の森を育て、元気に、地球の温暖化防止に貢献するために、役立てさせていただきます。オフセットクレジットに森林吸収クレジット等を利用するのは、日本の航空会社ではANAが初めてとなります。

※1 CO2削減量は、カーボンオフセットフォーラム(JCOF)が提供するカーボンオフセットの計算式から算出され、J-VERの買付方法が「クレジット」に集約されています。
 ※2 J-VERは、環境省が認定・交付されたクレジットとして登録・流通するカーボンオフセット用のクレジットです。J-VERは1クレジットあたり1トン削減です。※ JCOF事務局までお問い合わせください。

ケータイでカーボンオフセット

- 各空港の発着口に用意されたポスターのQRコードから「ANAカーボンオフセットプログラム」携帯サイトにアクセス。
- ご搭乗区間の表示を確認。
- ご搭乗区間のオフセット負担額が表示。
- 氏名、携帯メールのアドレス入力。
- オフセット額を決定するクレジットカード番号とカードの有効期限を入力。
- カーボンオフセット証明書が表示されました。



※ QRコードご使用にできない携帯電話をお持ちの方は、<http://anaoffset.com>宛にEメールをご送信いただくか、URL<http://anaoffset.com>を携帯に入力して、TOP画面からお入りください。※ カーボンオフセットの取扱いはお客室内にてお願いいたします。

<http://anaoffset.com>

事業総括

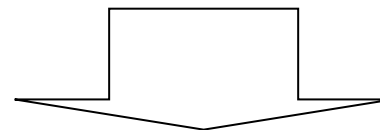
2009年9月10日～主要路線
でトライアル実施後、10月1日よ
り国内線全線スタート

どなたにも手軽にアクセスできる
携帯電話を利用し、J-VERを
活用した「新しい取り組み」



実績(10月1日から1月31日まで)

231件(18,868kg-CO₂)



今後さらに多くの方々にご利用いただくために

- ★様々な場面、媒体を活用しながら、当社プログラムを訴求し、カーボン・オフセット制度の普及・定着を図る
- ★お客様の声をお伺いしながら、より親しみやすい仕組み・システムを継続検討



ANAグループの環境への取り組み

- ★ANAグループ環境理念
- ★ANAグループエコロジープラン2008-2011
- ★環境の「見える化戦略」 e-flight2009
- ★「私の青空」 環境・社会貢献活動



エアラインとしての責務

ANAグループ環境理念

環境を大切にすることは、**私たち自身が地球に負荷をかけていることの自覚**から始まります。

私たちは、資源とエネルギーを大切に利用し、豊かで持続可能な社会の創造に貢献します。

私たちは、率先して環境保全に取り組み、地球を想う心を世界の人々と分かち合います。

ANAグループエコロジープラン(2008-2011)

グループ全役職員の環境意識向上とアクション

環境にやさしい事業運営

地球温暖化対策:

航空機燃料: 原単位(燃料効率) 2011年度で06年比 RTKあたり10%削減
CO2総排出量 国内線 期間年平均470万トンを以内

CO2総排出量目標を設定したのは
世界の航空業界で初めて!

事業所エネルギー: 全事業所計 年1%削減 (省エネ法への対応)

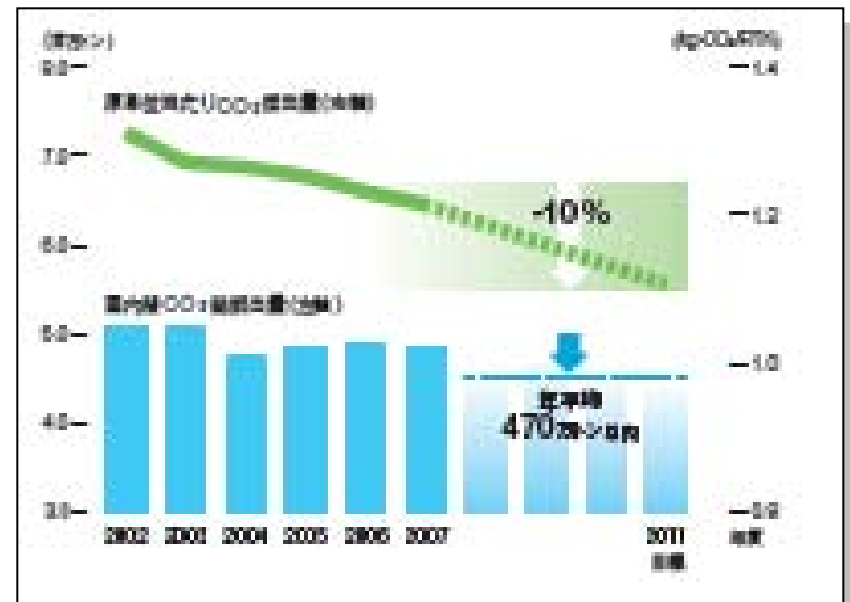
大気汚染対策:

航空機 リース機を含め全機ICAO排出ガス基準適合
地上車両 低公害車、低排出ガス車の割合を年1%増
ハイブリッド・電気自動車の積極導入

騒音対策 : リース機を含め全機ICAO騒音基準チャプター4適合

省資源化促進: 廃棄物削減 コピー紙20%削減、営業用紙 5%削減

Closed Recycle: 全事業所への展開



環境の「見える化戦略」 e-flight2009 (エコ・トライアルフライト)



詳細は、以下弊社CSRホームページ
e-flightをご覧ください

<http://www.ana.co.jp/ana-info/ana/csr/>

ここで、約5分間のe-flight
機内VTRをご覧ください

●企画コンセプト ～人と地球を考える～

- (1) 環境に配慮した機内用品・機内販売品をご提供
- (2) お客様のご協力の下、機内リサイクル・省資源化活動を実施
- (3) 環境先進企業とタイアップして、環境配慮型商品をご紹介

リサイクル活動	紙コップのリサイクル
	ペットボトルのリサイクル
提供品/ サービス	非木材利用ペーパーナプキンのご提供
	プラカップのバイオマスプラカップ化 (植物由来Ingeo™プラカップを使用) ※【ネイチャーワークス社との協賛による】
	国産間伐材箸のご提供
	PET製ボトル軽量型ワインのご提供
販売品	MY箸SET、MY BAG SETの販売
CO2の見える化	カーボン・オフセットプログラムのご提供
頒布品	エコ包装化粧品のサンプル配布 ※【資生堂との協賛による】
コミュニケーション(機内)	e-flight機内VTRの放映
	お客様用リーフレットの機内配布
コミュニケーション(地上)	空港内お客様向けインフォメーション画面でのe-flightご紹介と手荷物軽減などのご願い
提供品/サービス	100%再生原料使用ビニール袋を手荷物包装用として配布

「私の青空」 環境・社会貢献活動

森づくり



チーム美らサンゴ

国際環境絵本コンクール

